

令和2年度 第47回市政世論調査結果（概要）

■調査対象：令和2年6月末現在18歳以上の市民 4,000人 ■調査期間：7月22日～8月8日（18日間）
 ■有効回収率：56.3%（昨年比+5.7ポイント 有効回収数2,251）

1. 個別調査

（1）新潟市に対する誇りや愛着について（政策企画部政策監グループ）

・誇りや愛着の関心度（上位3項目） ※「ある」と「ある程度ある」の合計

H30			R2	
農産物	86.5%	→	農産物	87.9%
海産物	77.3%		海産物	76.9%
酒	75.6%		酒	75.6%
⋮			⋮	
湊町の歴史、風土、街並み	43.8%		湊町の歴史、風土、街並み	44.3%

⇒ 同様の調査を平成30年度に実施しており、比較すると順位の変動はなかった。また、「湊町の歴史、風土、街並み」の割合は0.5%増加した。

（2）居住に関する意向について（都市計画課）

・現在の住まいにこれからも住みたいか 住みたい （これからも住み続けたい(63.7%) 当分の間は住みたい (19.7%) 転居・転出したい （できれば転居・転出したい(4.6%) すぐにでも転居・転出した(0.7%) ）	83.4%	・現在の住まいに不満を感じている点 （上位3項目） 公共交通の利便性 37.8% 食料品、日用品等の買い物の利便性 21.4% 飲食店の充実度 20.3%
	5.3%	

⇒ 『現在の住まいに不満を感じている点』については、「公共交通の利便性」と回答した割合が最も高く、そのうち50～59歳（41.5%）で割合が高かった。一方で、18～29歳、30～39歳の若年層では「飲食店の充実度」「娯楽施設の充実度」の割合が高く、年代によって不満を感じる点が異なった。

（3）空き家について（住環境政策課）

・空き家が増えていると感じるか 増えていると感じる 45.5% 増えているとは感じない 31.5% わからない 22.2%	・誰もが空き家の所有者になる可能性があることを知っているか はい 68.6% いいえ 27.7% 不明・無回答 3.7%
--	---

⇒ 「空き家が増えていると感じる」と回答した割合が45.5%であり、空き家の増加を感じている市民の割合は半数程度であったが、『誰もが空き家の所有者（管理者）になる可能性があることを知っているか』については、「はい」が7割程度となっており、多くの市民が空き家の所有者になり得ることを認識している。

(4) 地域コミュニティ協議会の認知度について（市民協働課）

・住んでいる地域に地域コミュニティ協議会が組織されていることを知っているか			
H30		R2	
名前も活動内容も知っている	20.3%	名前も活動内容も知っている	22.9%
名前だけ知っている	41.7%	名前だけ知っている	32.2%
知らない	35.5%	知らない	42.2%

⇒ 同様の調査を平成30年度に実施しており、比較すると「名前も活動内容も知っている」「知らない」と回答した割合がどちらも増えており、特に「知らない」と回答した割合は6.7%増加した。

(5) 区自治協議会の認知度について（市民協働課）

・住んでいる区の自治協議会について知っているか			
H30		R2	
名前も活動内容も知っている	12.3%	名前も活動内容も知っている	17.4%
名前だけ知っている	33.4%	名前だけ知っている	27.7%
知らない	49.9%	知らない	52.8%

⇒ (4)同様、H30年度と比較すると、「知らない」の割合が2.9%高くなった。

※「地域/区」がより良くなるための課題について

・住んでいる「地域」の課題 (上位5項目)	・住んでいる「区」の課題 (上位5項目)
道路や歩道、公園などの 環境整備・環境美化	地域の活性化
地域の見守りなど防犯・交通安全	防犯対策
避難訓練・連絡体制など防災	公共交通の充実
高齢者の交流の場づくりや 高齢者世帯への支援	防災対策
子育ての支援	高齢者・児童・障がい者福祉
※上記(4)コミ協認知度関連	※上記(5)自治協認知度関連

⇒ 「地域」では、「環境整備・環境美化」、「地域の見守り」が約5割となり、「区」では「地域の活性化」が5割以上を超えた。「防災」は、地域及び区ともに3割を超えた。

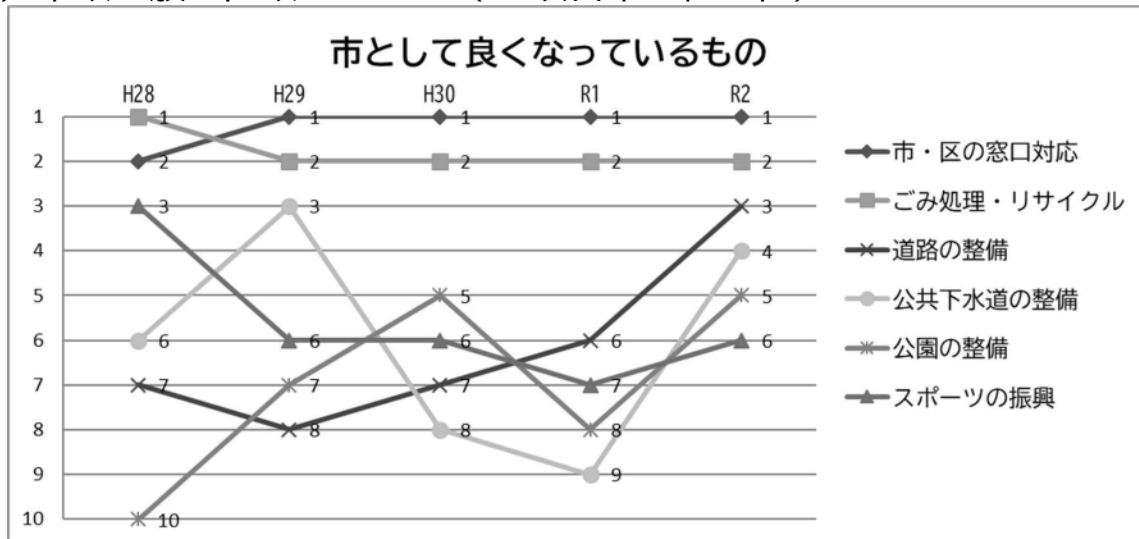
(6) 地域活動への参加状況について（広聴相談課）

・昨年地域活動にどれくらい参加したか	・参加できなかった要因（上位3項目）
月に1～3回以上参加した。	地域活動に参加する時間
2～3か月に1回参加した。	がなかったから
年に1,2回しか参加しなかった。	活動に魅力を感じなかったから
全く参加しなかった。	地域活動に関する情報を得ること
	ができなかったから

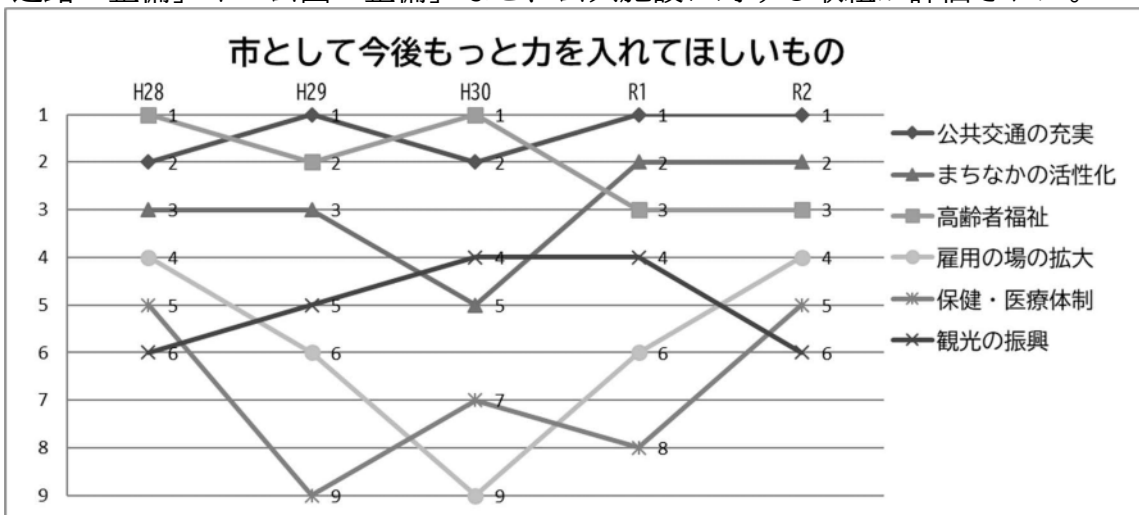
⇒ 昨年の地域活動への参加状況について、半数が「全く参加しなかった。」と回答した。参加できなかった要因のうち、「活動に魅力を感じなかったから」と回答した割合は、女性より男性の割合が5.3%高かった。

2. 経年調査

(1) 市政全般と区政について (33項目中上位6位)



⇒ 「公共下水道の整備」が前年度9位から急上昇し4位となった。その他、「道路の整備」や「公園の整備」など、公共施設に対する取組が評価された。



⇒ 「雇用の場の拡大」が昨年度からさらに順位を上げ、今年度は4位となった。また、「保健・医療体制」については、前年8位から5位となった。

(2) 市の取り組みに対する満足度

【満足】「満足している」「ある程度満足している」の合計		
【不満】「やや不満」「不満」の合計		
【満足】	食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくり	33.3%
【満足】	ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくり	31.1%
【不満】	持続可能な公共交通体系の構築	37.8%
【不満】	にぎわい空間の創出など、まちなか活性化	28.4%

⇒ 「人と環境にやさしいまちづくり」や、「食と農」を活かした地域づくり・人づくり」に対する満足度が高い結果となった。

3. 今後の公表予定

- 12/ 6(日)市報及び市ホームページに掲載
- 12/ 7(月)各区役所・市政情報室にて閲覧可

市政世論調査 区政についての経年順位

1. 区として良くなっているもの（33項目中上位5位）

令和2年度

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応
2位	ごみ処理・リサイクル	公園の整備	道路の整備	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル
3位	防犯対策	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	公園の整備 防災対策	地域活動の振興	防災対策	道路の整備	高齢者福祉
4位	地域活動の振興 防災対策	道路の整備	公共下水道の整備		道路の整備	道路の整備	防災対策	防災対策
5位		防災対策	公園の整備	公共下水道の整備	交通安全対策	防犯対策 保健・医療体制	公園の整備	道路の整備 交通安全対策

⇒ 『市として良くなっているもの』の上位5位のうち、「市・区の窓口対応」「ごみ処理・リサイクル」は、全ての区でランクインした。他の区にはない項目として、南区では「保健・医療体制」（5位）、西蒲区では「高齢者福祉」（3位）がそれぞれランクインした。

令和元年度

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	ごみ処理・リサイクル
2位	ごみ処理・リサイクル	公園の整備	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	市・区の窓口対応
3位	地域活動の振興	ごみ処理・リサイクル	公園の整備	公園の整備	公園の整備	交通安全対策	公園の整備	防災対策
4位	公共下水道の整備 道路の整備	防犯対策	道路の整備	地域活動の振興	地域活動の振興	防災対策 道路の整備	防犯対策	地域活動の振興
5位		地域活動の振興	電子手続きの推進 地域活動の振興	公共下水道の整備 交通安全対策 防災対策	文化・芸術の振興		公共下水道の整備	交通安全対策

平成30年度

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応	市・区の窓口対応 ごみ処理・リサイクル
2位	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	ごみ処理・リサイクル	
3位	地域活動の振興	公園の整備	道路の整備	公園の整備 道路の整備	文化・芸術の振興	道路の整備	公園の整備	地域活動の振興
4位	公園の整備	交通安全対策	公園の整備		まちなかの活性化	公園の整備	地域活動の振興	公園の整備
5位	公共下水道の整備 交通安全対策	地域活動の振興	防災対策 まちなかの活性化	公共交通の充実	地域活動の振興	保健・医療体制	防犯対策	道路の整備

2. 区として今後もっと力を入れてほしいもの（33項目中上位5位）

令和2年度

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	まちなかの活性化	防犯対策	まちなかの活性化	まちなかの活性化	まちなかの活性化	公共交通の充実	防犯対策	公共交通の充実
2位	道路の整備	防災対策	公共交通の充実	道路の整備	道路の整備	まちなかの活性化	まちなかの活性化	道路の整備
3位	高齢者福祉	公共交通の充実	防災対策	防災対策	高齢者福祉	雇用の場の拡大	公共交通の充実	まちなかの活性化
4位	防災対策	高齢者福祉	防犯対策	保健・医療体制	保健・医療体制	高齢者福祉	防災対策	雇用の場の拡大
5位	防犯対策 公共交通の充実	まちなかの活性化	高齢者福祉	公共交通の充実	防災対策	保健・医療体制	高齢者福祉	保健・医療体制
				高齢者福祉	公共交通の充実			

⇒ 『市として今後もっと力を入れてほしいもの』の上位5位のうち、「公共交通の充実」及び「まちなかの活性化」は、全ての区でランクインした。また、「高齢者福祉」が西蒲区の除く7区でランクインした。

令和元年度

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	公共交通の充実	防犯対策	まちなかの活性化	公共交通の充実	まちなかの活性化	公共交通の充実	防犯対策	まちなかの活性化 公共交通の充実 道路の整備
2位	まちなかの活性化 高齢者福祉 防災対策	高齢者福祉	防災対策	まちなかの活性化	公共交通の充実	まちなかの活性化	防災対策	
3位		防犯対策	防犯対策	防犯対策	防犯対策	防犯対策	公共交通の充実	
4位		公共交通の充実	公共交通の充実	道路の整備 交通安全対策	雇用の場の拡大	高齢者福祉 児童福祉 農林水産業の振興 雇用の場の拡大	高齢者福祉	市・区の窓口対応
5位	防犯対策	まちなかの活性化	高齢者福祉		保健・医療体制	児童福祉	雇用の場の拡大	

平成30年度

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	防犯対策	防犯対策	防犯対策	公共交通の充実	まちなかの活性化	まちなかの活性化	防犯対策	防犯対策
2位	防災対策	高齢者福祉	まちなかの活性化	防災対策	高齢者福祉	公共交通の充実	防災対策	まちなかの活性化
3位	公園の整備	防災対策	防災対策	防犯対策	道路の整備	防災対策	高齢者福祉	高齢者福祉
4位	高齢者福祉 まちなかの活性化 公共交通の充実	道路の整備	高齢者福祉	まちなかの活性化	公園の整備	高齢者福祉	公共交通の充実	公共交通の充実
5位		児童福祉	公園の整備	高齢者福祉	防犯対策	防犯対策	交通安全対策	児童福祉